

7 主な営繕工事

7.1 飛騨天文台

飛騨天文台専用道路整備工事 (2011年5月)

冬季間の除雪や、春先の融雪により荒れた路面の不陸整正、落石・崩土等によって埋まった側溝などの整備を行った後、砕石敷き均し工事を実施した。

(施工業者: 宝興建設)

(木村)

7.2 花山天文台

上水道ポンプ小屋改修(2011年11月-2012年1月)

上水道給水システムの改修を行った。従来の給水システムでは、京都市の水道からポンプ小屋の地下の受水槽に一旦水を溜めた後、ポンプで本館屋上の高架水槽まで揚水し、そこから台内各所へ配水していた。今回の工事では、ポンプ小屋を新築し、受水槽を六面点検が可能な地上設置型に変更するとともに、高架水槽を使わずにポンプで直接各所へ水を圧送するシステムに変更した。

(施工業者: 影近メンテ、吉商電工、井上建設)

本館便所の改修増設、給湯室の移設 (2011年12月-2012年2月)

設備が古く、男女共用で大便器1器と小便器1器しかなかった本館便所の改修を行った。新しい便所では、男子用と女子用が分けられ、便器の数も2倍に増やされた。また、LED照明、自動水洗装置、温水洗浄便座、照明や換気扇の自動制御装置など、使い勝手を良くする各種の装置が採用された。

また、旧給湯室を女子用トイレに改修したことに伴い、旧仮眠室(和室)を改修して新たに給湯室とした。

(施工業者: ケーエムホーム、吉商電工、影近メンテ)

歴史館修繕 (2012年3月)

外観の劣化が進んでいた歴史館において、外壁および屋根の塗装と、右下の角が大きく破損していた西側扉の補修を行った。

(施工業者: ケーエムホーム)

台内各所水回り設備の修繕等 (2011年10月14日)

新館の男子トイレにおいて、水の流れが悪くなっていた小便器の排水管の貫通作業を実施した。また、手動の給水バルブをフラッシュバルブに付け替えた。

太陽館の流し台において、水の流れが著しく悪くなっていた太陽館流し台の排水管を取り替えた。

太陽館の地下室をカルバー望遠鏡の一時保管庫として使用することになったため、太陽館地下室に除湿機用の排水管を敷設した。

(施工業者: 影近メンテ)

(八木)